

TAIWAN JAPAN

次代の国際交流を
提案したい



最終日
ホームステイ直後のスナップ



表彰
日本の授業をそのまま体験



京都市内ツアー
京都に見所を案内

COLLABORATION_15



国境を越えて

ロボットの動きをプログラミング！

2015年11月16日、台北の名門の私立中学「淡紅高級中学」の高校生11名が同志社中学に来校し、国際交流しました。メインとなる授業交流プログラムは、バディである日本人生徒が自分のクラスに淡江の生徒を連れて行き日本授業体験をしたり、建築工芸の楊先生やロボット工学の黄先生

未来の授業に国境はない。年齢も立場も専門分野も超えて、アイデアや学びをシェアする授業がやってきた

の授業を、淡江の生徒の指導のもと教えてもらったりしました。建築デザインの元になるダイアグラムの不思議な折り紙体験と、すでにマイコンに入力されたプログラムをつかって問題解決するLEGOロボットの体験はあっという間でした。英語や中国語やボディランゲージをつかって、コミュニケーションをとりながらの授業となりました。中谷医工計測振興財団の援助を得て行うことができました。

もう一つの目玉プログラムは、ホームステイです。9名のホストファミリーのご協力を得て、ホームステイによる日本文化体験をすることができました。ホームステイが最後の日ただけに「もう帰りたくない。まだ居たい」と淡江の生徒たちは言っていました。

京都ツアーでは、今海外で有名な伏見稲荷、太秦映画村を訪れとても楽しい国際交流の一日となりました。

国境を越え課題を共同で

既に現実社会では、アジアの国の会社と上手くコミュニケーションをとりながら協同で商品開発しているものづくりが一般的になっている。「国境をシェアし、一緒になってアイデアを出し合い、目の前の課題に対して解決しようと挑戦していけたらいいな」、「そんな原体験をこの授業で体験できたらいいな」…これが、アジアものづくり授業プロジェクトの原点なのです。（沼田）



手作りのおもてなし





